



大英産業株式会社

2026年9月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

目次

- 1** 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2** 会社概要
- 3** 2026年9月期第2四半期 業績報告
- 4** トピックス(2026年1月～2026年3月)
- 5** 中期業績目標(2028年9月期)
- 6** 株主還元

■ **業績予想に対し、売上高は下回る。一方、営業損失及び経常損失は予想を上回った。**

- ▶ 分譲住宅の完成在庫販売の進捗及び、原価・販管費のコントロールを徹底したことにより営業損失・経常損失は、開示業績予想を上回った。

■ **分譲マンション事業は、引渡戸数が170戸に増加。**

- ▶ ただし、前年同期に計上した法人向け大型物件の売上がなかったことや、販売単価の変化等が要因となり減収減益。

■ **分譲住宅(戸建)事業では在庫の適正化を進め、収益性改善に向けた基盤を構築。**

- ▶ 販売期間が長期化していた物件の販売を促進。貸借対照表上の分譲住宅の販売用不動産は2025年9月30日時点と比べ275百万円減少し、在庫の適正化が進展した。

目次

- 1 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要**
- 3 2026年9月期第2四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年1月～2026年3月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

会社概要

商 号	大英産業株式会社
会 社 設 立	1968年11月28日
所 在 地	福岡県北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号
代 表 者	代表取締役社長 一ノ瀬 謙二
資 本 金	3億4,248万円(2026年3月31日)
直 近 売 上 高	390億円(2025年9月期)
従 業 員 数	446名(2026年3月31日)
	※就業規程の改定により「アルバイト」を「パート」に呼称統一、従業員数に旧アルバイト人数も含む。
子 会 社	大英リビングサポート株式会社 株式会社大英工務店 株式会社大英エステート 株式会社大英不動産販売 株式会社DAIEIアーキテクツ

沿革

1968年 創業

宅地の造成・販売、分譲住宅の販売を開始

1986年 分譲マンション事業を開始

2003年 中古住宅の販売、不動産仲介業を開始

2004年 リフォーム事業を開始

2009年 分譲住宅(戸建)事業を開始

2010年 マンション管理会社「株式会社リビングサポート」を設立

※現「大英リビングサポート株式会社」

2017年 工事請負会社「株式会社大英工務店」を設立

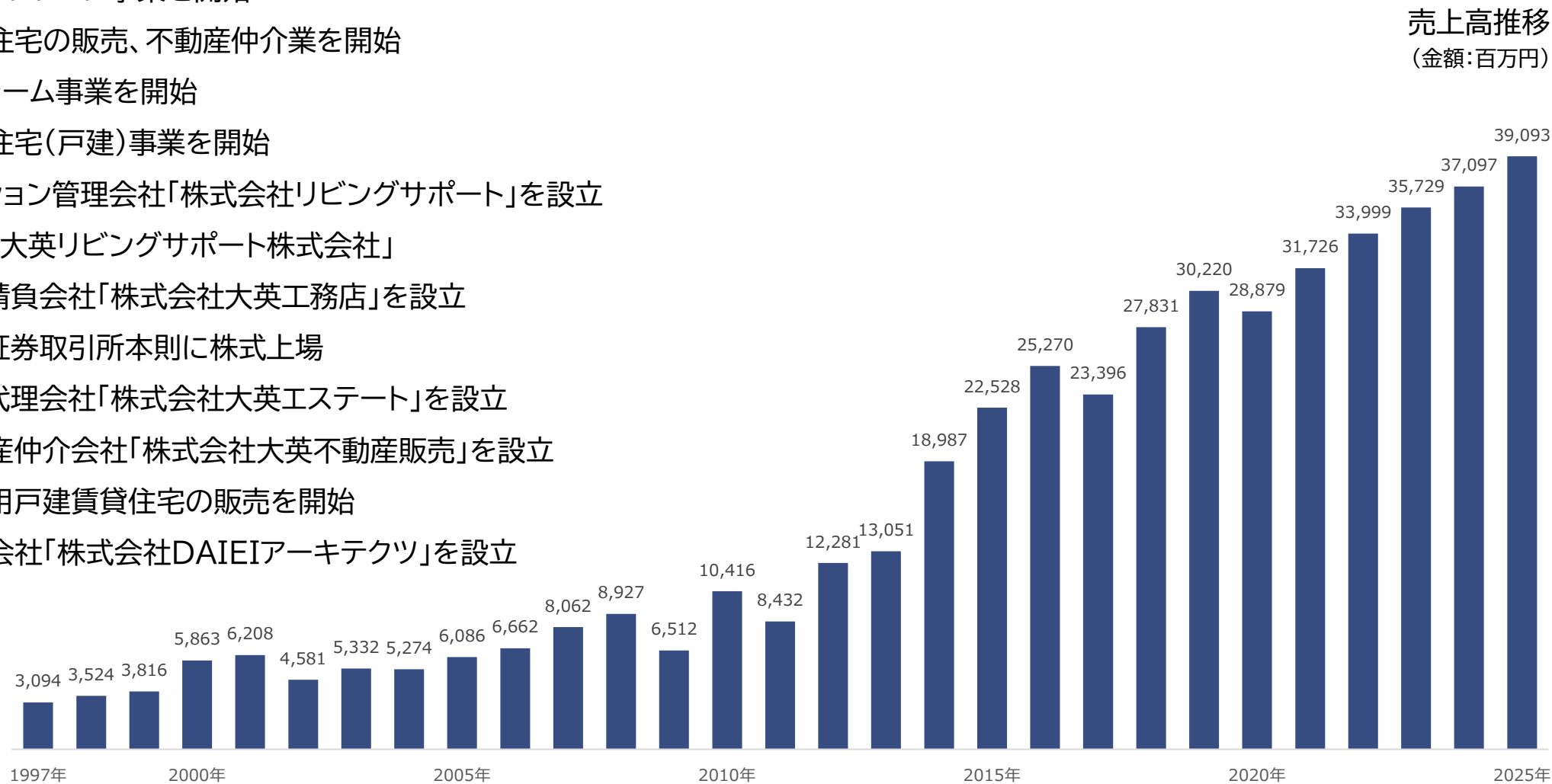
2019年 福岡証券取引所本則に株式上場

2021年 販売代理会社「株式会社大英エステート」を設立

不動産仲介会社「株式会社大英不動産販売」を設立

投資用戸建賃貸住宅の販売を開始

2024年 建築会社「株式会社DAIEIアーキテクト」を設立



経営理念

元気な街、心豊かな暮らし



ミッション

ライフスタイルに合った良質な「すまい」を提供し
持続的に発展する「まち」をつくる

経営方針

地域愛着経営

主力事業



分譲マンション事業

福岡市・北九州市を中心に九州・山口エリアにて「サンパーク」と、コンパクトマンション「サンレリウス」の新築分譲マンションシリーズを展開



分譲住宅(戸建)事業

福岡・佐賀・熊本・山口の各県にて新築一戸建て住宅を展開
新築一戸建てのオプション工事や既存住宅のリフォームまで
トータルで提案するすまいサポート事業も展開

主力事業



不動産流通(中古住宅の買取再販)事業

北九州市を中心とした福岡・熊本の各県にて中古住宅を買い取り、リフォームを行い付加価値を高めて再販する事業を展開



街づくり事業

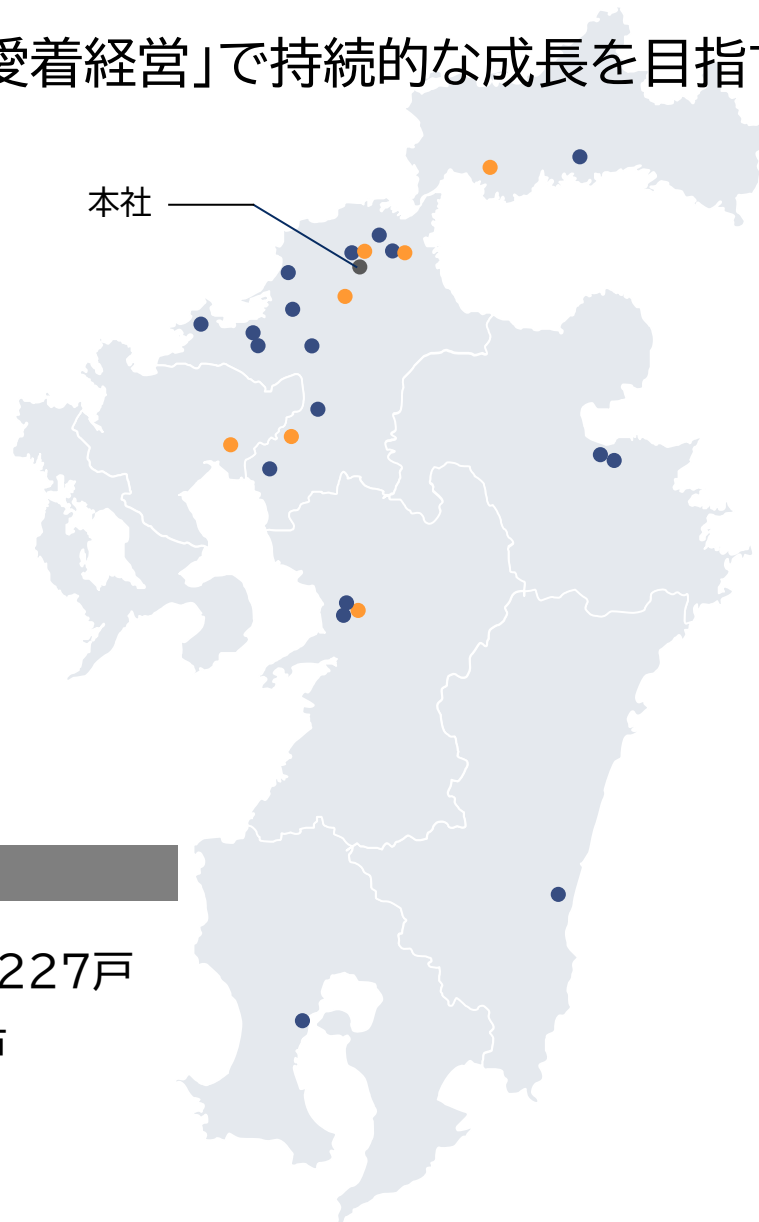
投資用の戸建賃貸住宅や賃貸アパートおよび宿泊施設の開発・販売や、事業用不動産の販売など幅広い顧客層に向けた不動産商品を展開

事業展開エリア

九州・山口エリアにて「住宅・不動産」を中心とした事業を展開
 「地域愛着経営」で持続的な成長を目指す

住宅事業店舗

イオンタウン黒崎店
 小倉南店
 飯塚店
 久留米店
 宇部店
 佐賀店
 熊本店



供給実績(2025年9月末)

分譲マンション 総供給数 11,227戸
 分譲住宅 総供給数 5,624戸

マンションギャラリー

サンパークマンション小倉ギャラリー
 サンパークマンション八幡ギャラリー
 サンパークマンション福岡ギャラリー
 サンパークマンション福岡西ギャラリー
 サンパークマンション久留米ギャラリー
 サンパークマンション筑紫野ギャラリー
 サンパークマンション新宮ギャラリー
 サンパークマンション糸島ギャラリー
 サンパークマンション熊本ギャラリー
 サンパーク天保山グラッセマンションギャラリー
 サンパーク下郡グラッセ販売センター
 サンパーク防府駅EXIA(DAIEI防府駅販売センター)

大英リビングサポート株式会社 事業所

本社、北九州市小倉、福岡、熊本、大分、宮崎

目次

- 1 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第2四半期 業績報告**
- 4 トピックス(2026年1月～2026年3月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

2026年9月期第2四半期 連結損益計算書

	2025年9月期第2四半期		2026年9月期第2四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	14,168	100.0%	13,087	100.0%	92.4%
売上総利益	2,409	17.0%	2,262	17.3%	93.9%
販売費及び一般管理費	2,555	18.0%	2,554	19.5%	99.9%
営業損失(△)	△146	-	△291	-	-
経常損失(△)	△335	-	△504	-	-
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)	△230	-	△426	-	-

※金額:百万円以下切り捨て %:小数点第2位四捨五入

売上高は、前年同期に計上していた分譲マンションの大型物件がなかったことに加え、分譲住宅及び中古住宅の買取再販の引渡戸数の減少により、前年同期を下回った。売上総利益率は前年同期より改善したものの、売上高の減少に伴い売上総利益額は減少。販管費は、前年同期並みの水準に抑制したが、売上総利益の減少を補えず、営業損失は拡大した。

(金額:百万円)	第2四半期累計予想	第2四半期累計実績	2026年9月期通期予想
売上高	13,867	13,087	37,641
営業利益または営業損失	△342	△291	1,279
経常利益または経常損失	△591	△504	754
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△414	△426	466

営業損失・経常損失は、開示業績予想を上回った。分譲住宅の完成在庫販売が進捗したことに加え、原価及び販管費のコントロールを徹底したことが要因。通期では、分譲マンションの竣工が第3四半期以降に集中する計画であるため、営業利益・経常利益・当期純利益ともに黒字転換の見込み。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
竣工予定棟数	1棟	2棟	3棟	5棟

2026年9月期第2四半期 事業別売上高

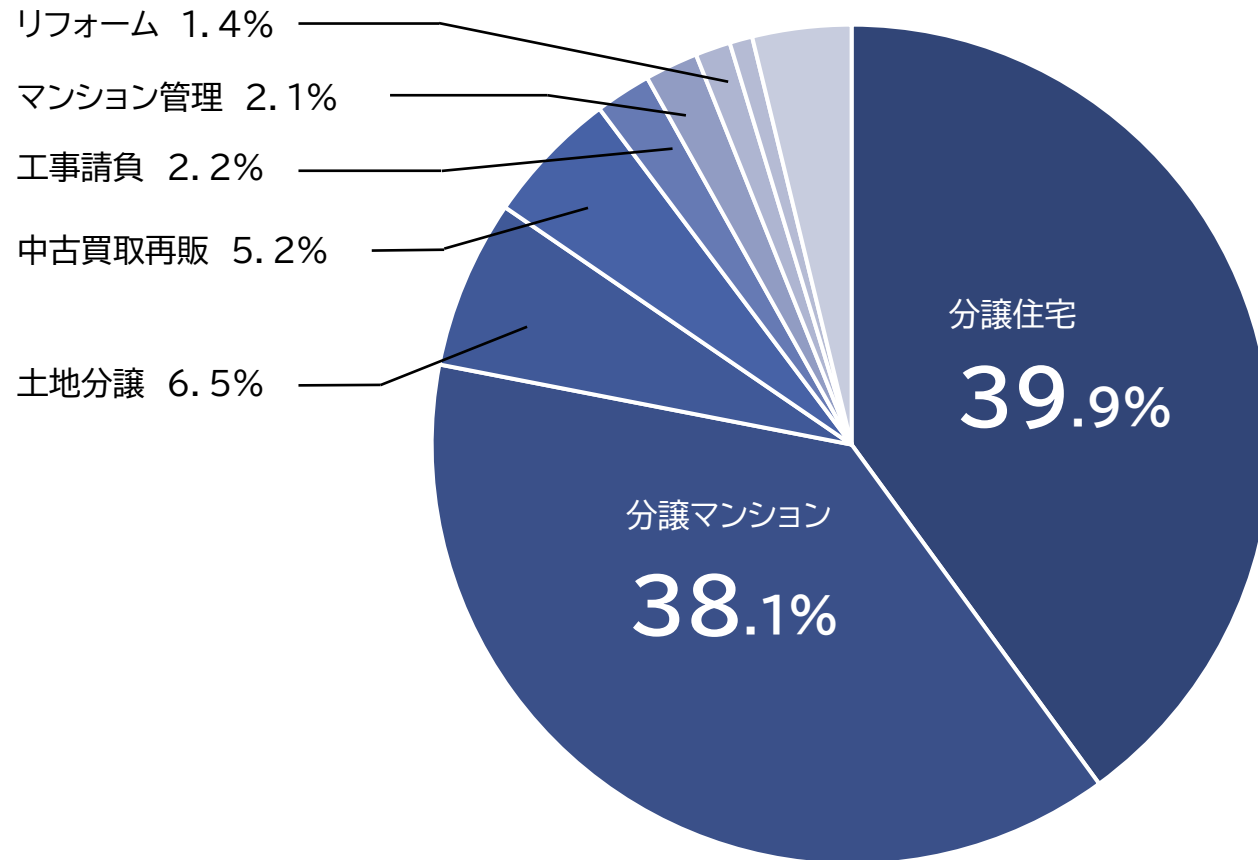
※金額:百万円以下切り捨て %:小数点第2位四捨五入

(金額:百万円)		2025年9月期 第2四半期	2026年9月期 第2四半期	増減額	前年同期比
マンション事業	計	6,140	5,288	△851	86.1%
	分譲マンション事業	5,916	5,014	△903	84.7%
	マンション管理事業	224	275	51	122.8%
住宅事業	計	7,978	7,718	△260	96.7%
	分譲住宅(戸建)事業	5,873	5,756	△117	98.0%
	不動産流通事業	1,152	822	△329	71.4%
	街づくり事業	604	686	82	113.6%
	すまいサポート事業	207	254	46	122.6%
	宿泊施設事業	75	82	6	108.9%
	その他	66	116	49	174.8%
その他(温泉管理・賃貸管理)		49	80	31	163.5%
合計		14,168	13,087	△1,081	92.4%

マンション事業の売上高は、分譲マンション事業の減収の影響により5,288百万円(前年同期比△13.9%)となった。
住宅事業の売上高は、街づくり事業・すまいサポート事業等が増収となったものの、分譲住宅(戸建)事業・不動産流通事業の減収により7,718百万円(前年同期比△3.3%)となった。

2026年9月期第2四半期 商品別売上高

商品別 売上高構成比率



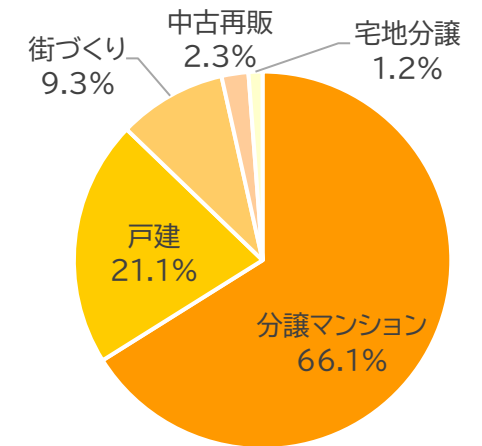
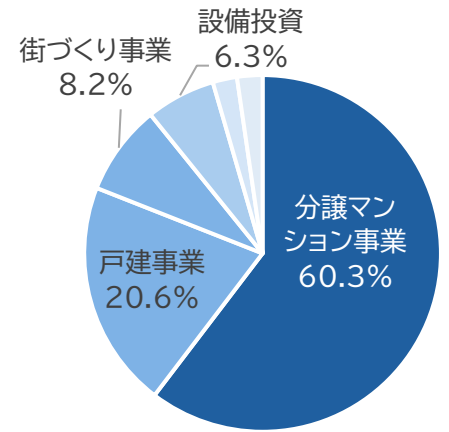
商品別 売上高(百万円)

分譲住宅(戸建)	5,225
分譲マンション	4,980
土地分譲	850
中古買取再販	679
工事請負	282
マンション管理	268
リフォーム	177
事業用不動産	115
投資用戸建賃貸住宅	84
宿泊施設	82
その他	339
合計	13,087

商品別では、分譲住宅が5,225百万円(構成比39.9%)、分譲マンションが4,980百万円(構成比38.1%)となり主力の2商品で売上高の78%を占めた。また、アパート等の工事請負が282百万円と前年同期比で伸長した。

2026年9月期第2四半期 貸借対照表

(金額:百万円)	2025年 9月30日	2026年 3月31日	増減額	2025年 9月30日	2026年 3月31日	増減額	
流動資産 合計	43,046	42,201	△845	流動負債 合計	28,540	26,958	△1,581
現金・預金	9,933	6,519	△3,414	支払手形・買掛金	3,832	1,492	△2,339
販売用不動産	8,691	8,156	△535	短期借入金	13,366	16,146	2,780
仕掛販売用不動産	22,999	26,689	3,689	1年以内返済借入金	7,356	7,119	237
その他	1,421	836	△585	その他	3,985	2,200	△1,785
固定資産 合計	4,218	4,453	235	固定負債 合計	9,900	11,325	1,424
有形固定資産	3,779	3,853	73	長期借入金	9,373	10,784	1,410
無形固定資産	24	17	△6	その他	527	540	13
投資その他の資産	413	581	167	純資産	8,822	8,370	△452
資産 合計	47,264	46,654	△609	負債純資産合計	47,264	46,654	△609

仕掛・販売用不動産内訳(商品別)
合計 34,848百万円有利子負債内訳(事業別)
合計 34,050百万円

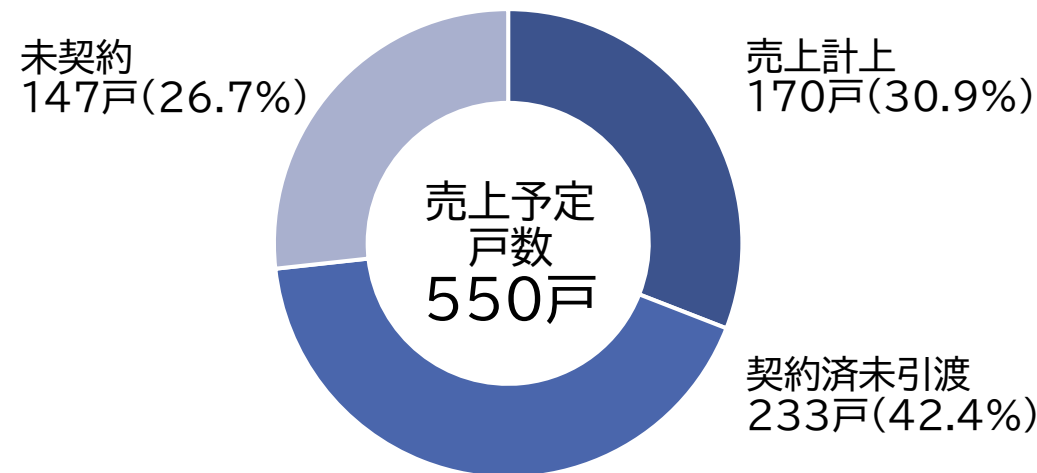
仕掛販売用不動産は、主に福岡市エリアでの分譲マンション用地の仕入れを進めたことにより3,689百万円増加した。
長期借入金は、分譲マンション及び街づくり事業の用地取得に伴い増加し、純資産は中間純損失の計上等により452百万円減少した。

分譲マンション事業 業績

	2025年9月期 第2四半期		2026年9月期 第2四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	5,916	100.0%	5,014	100.0%	84.7%
売上総利益	967	16.4%	810	16.2%	83.8%
営業利益	245	4.2%	101	2.0%	41.4%

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

2026年9月期 売上予定戸数



引渡し戸数増加も大型案件等の反動

「サンパーク柳川駅レジデンス」の完売に加え、「サンレリウス」物件の引渡しが進捗し、分譲マンションの引渡し戸数は170戸と前年同期(99戸)に比べ増加した。一方で、前年同期に計上していた一棟売りの大型物件の売上がなかったことに加え、販売単価が相対的に低いコンパクトマンションシリーズ「サンレリウス」の引渡し戸数の比率上昇により、売上高は5,014百万円(前年同期比△15.3%)となった。

分譲マンション事業



当期販売物件一覧(2026年3月末時点)

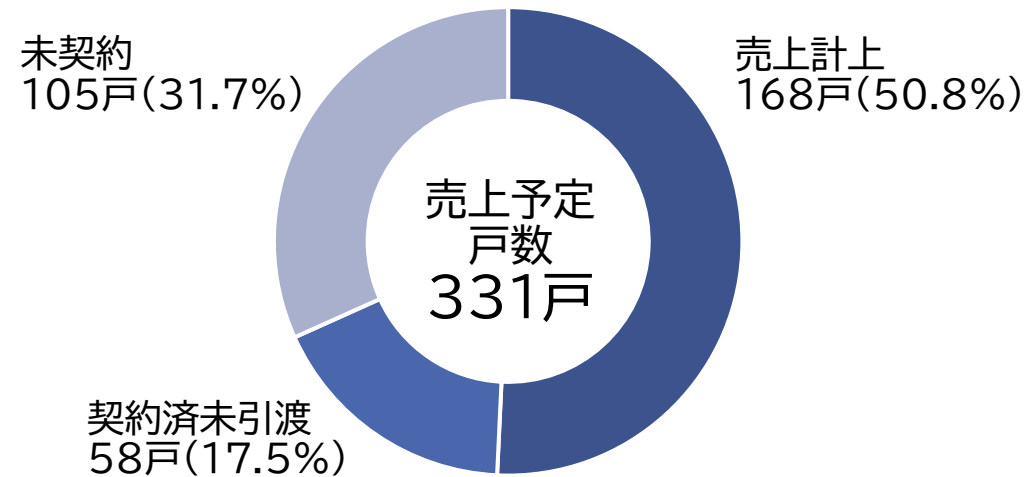
事業エリア	物件名	総戸数	竣工時期
福岡県	ザ・サンパーク春日原駅レジデンス	36	竣工済
	サンパーク柳川駅レジデンス	59	竣工済【完売】
	サンパーク都府楼前駅グラッセ	45	竣工済
	サンレリウス小倉片野ネクスト	56	竣工済
	サンレリウス三萩野	56	竣工済
	サンレリウス戸畑駅	56	竣工済
	サンパーク二日市駅グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク糸島グラッセ	39	2026年9月期
	サンパーク新宮EXIA West- I II,East	96	2026年9月期
	ザ・サンパーク西新	24	2027年9月期
	ザ・サンパーク姪浜	42	2027年9月期【完売】
	サンパーク春日原駅グラッセ	33	2027年9月期
	サンパーク春日原駅EXIA	52	2027年9月期
	サンパーク諏訪野レジデンス	55	2027年9月期
	サンパーク西新南レジデンス	38	2027年9月期【新規】
	ザ・サンパーク守恒	53	2027年9月期【新規】
大分県	サンパーク下郡グラッセ	55	竣工済
熊本県	サンパーク新大江グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク大江東グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク桜町レジデンス	50	2026年9月期
鹿児島県	サンパーク天保山グラッセ	36	竣工済
山口県	サンパーク防府駅EXIA	66	竣工済

分譲住宅(戸建)事業 業績

	2025年9月期 第2四半期		2026年9月期 第2四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	5,873	100.0%	5,756	100.0%	98.0%
売上総利益	979	16.7%	873	15.2%	89.2%
営業利益	448	7.6%	388	6.7%	86.6%

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

2026年9月期 売上予定戸数

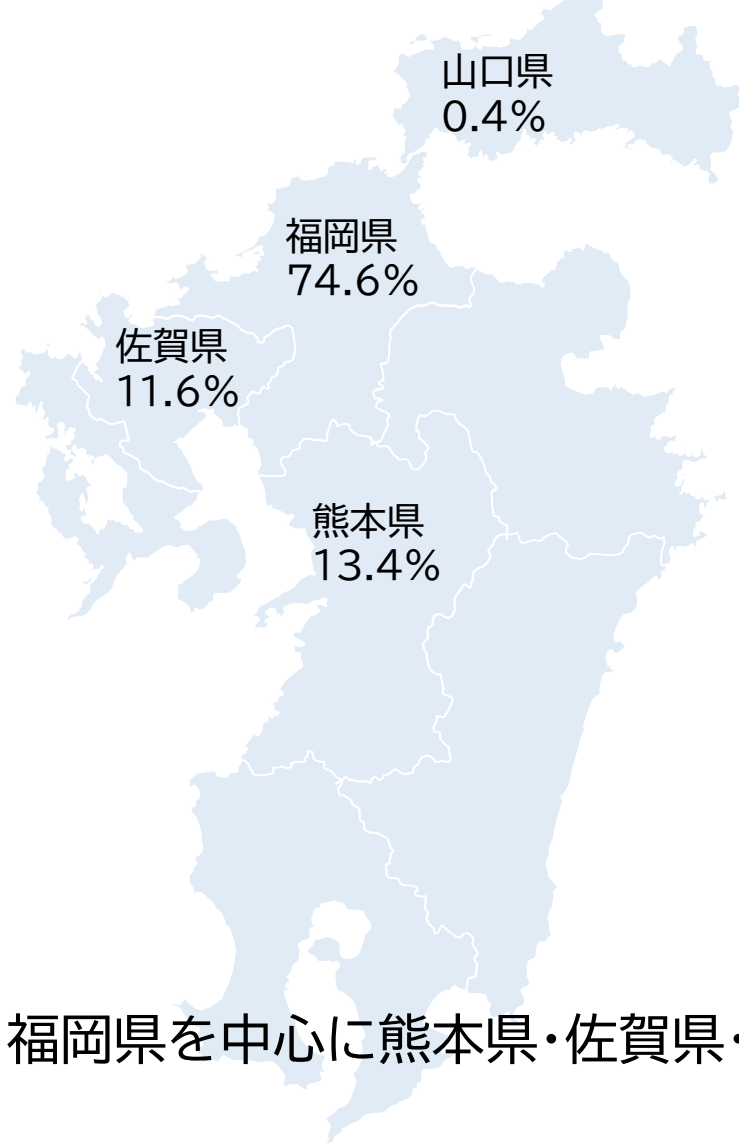


販売促進による売上総利益率低下も、在庫の適正化が進展

引渡戸数が168戸と前年同期(184戸)を下回り、売上高は5,756百万円(前年同期比△2.0%)となった。一方、貸借対照表上の販売用不動産は2025年9月30日時点と比べ275百万円減少し、在庫の適正化は着実に進展。その結果、売上総利益873百万円(前年同期比△10.8%)、営業利益388百万円(前年同期比△13.4%)となった。分譲住宅におけるリニューアル商品の販売促進により、今後の利益率改善を図る。

分譲住宅(戸建)事業

事業エリア別 売上高構成比
(2026年9月期第2四半期)



商品ラインナップ

ONEHOUSE



3つのデザインを軸に、外観・内装・外構までトータルコーディネートした家。

SUN COURT



価格も暮らしやすさも叶えてくれる、こだわりをつめこんだ選ばれ続ける家。

ARCHI DAYS



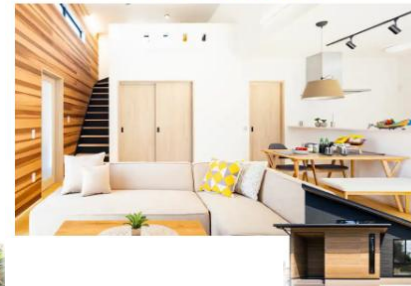
ロジックとデザインを融合した、美的価値と快適な暮らしを提供する家。

the park



遊びごころにこだわった、家族みんなが居心地の良い場所を見つけられる家。

hidamari



心地いい「ゆったりとした暮らし」を叶えてくれる、光あふれる平屋の家。

福岡県を中心に熊本県・佐賀県・山口県にて、顧客ニーズに合わせた5つの商品ラインナップを展開

不動産流通事業 業績

	2025年9月期 第2四半期		2026年9月期 第2四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	1,152	100.0%	822	100.0%	71.4%
売上総利益	111	9.7%	125	15.3%	112.7%
営業利益 または営業損失	△21	-	49	6.0%	-

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

中古住宅にリフォームを施し付加価値を高めて再販



引渡し戸数減少も利益率は改善

不動産流通(中古住宅の買取再販)事業では、引渡戸数が39戸(前年同期62戸)と減少したことにより、売上高は822百万円(前年同期比△28.6%)となった。一方、仕入物件の厳選及びリフォームによる付加価値向上により、売上総利益率は改善した。その結果、収益性は前年同期比で向上し、安定的な利益確保に向けた事業運営を継続している。

街づくり事業 業績

	2025年9月期 第2四半期		2026年9月期 第2四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	604	100.0%	686	100.0%	113.6%
売上総利益	135	22.4%	108	15.8%	80.5%
営業利益 または営業損失	6	1.1%	△73	-	-

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

街づくり事業の商品ラインナップ

事業用不動産・土地	投資用の戸建賃貸住宅
 <p>法人向けの不動産及び大型の土地分譲を展開</p>	 <p>安定した入居需要と高い収益性を備えた投資用商品</p>
賃貸アパート等の工事請負	賃貸住宅の運営
 <p>用地提供から特定建築物の建築までをトータル提案</p>	 <p>運営安定収益の拡大を目指し、賃貸住宅を保有</p>

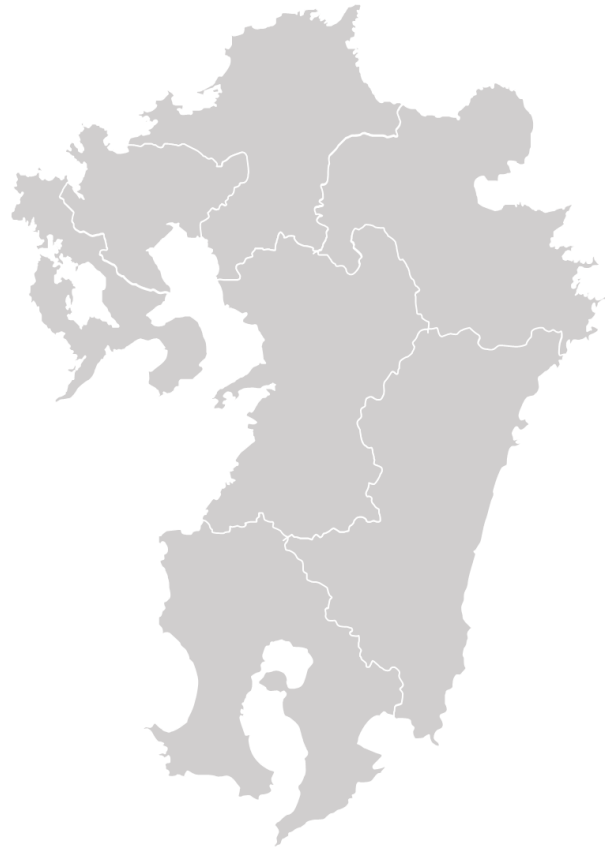
引渡し件数の減少により一時的に減益

街づくり事業では、売上高は686百万円(前年同期比+13.6%)となった。引渡し商品構成の変化により売上総利益は108百万円(前年同期比△19.5%)と減少したことに加え、成長事業である街づくり事業への人員配置強化に伴い人件費が増加した結果、営業損失を計上した。引き続き、投資用不動産や宿泊施設を含む多様な商品展開を進め、通期での収益黒字化を見込んでいる。

目次

- 1 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第2四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年1月～2026年3月)**
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

TOPICS 1 2025年 分譲マンション販売・供給実績 | 九州および福岡県でNo.1



2025年の分譲マンション販売戸数および供給戸数において、九州7県および福岡県にて第1位を獲得。立地特性や市場ニーズを的確に捉えた商品供給を行ってきたことが、安定した販売実績に繋がった。

※住宅流通新報社調べ

TOPICS 2 大分県「湯布院」にて宿泊施設の完工・引渡し



大分県湯布院において進めていた販売用宿泊施設の企画・建設プロジェクトが完工し、引渡しを完了。福岡市博多区および中央区においても開発を進めており、その他6現場の販売用宿泊施設用地を取得。



TOPICS 3 株式会社ギラヴァンツ北九州との新クラブハウス設計・監理業務委託契約締結

株式会社DAIEIアーキテクツが、プロサッカークラブを運営する株式会社ギラヴァンツ北九州と新クラブハウスに関する設計・監理業務委託契約を正式に締結。地域スポーツの振興と地域活性に貢献していく。



TOPICS 4 事業機会の拡大を図り、不動産開発事業に関する業務提携契約を締結

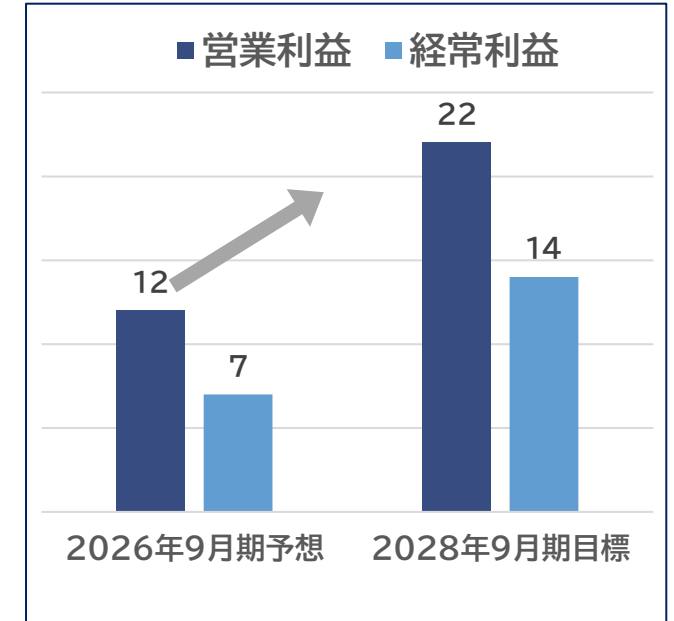
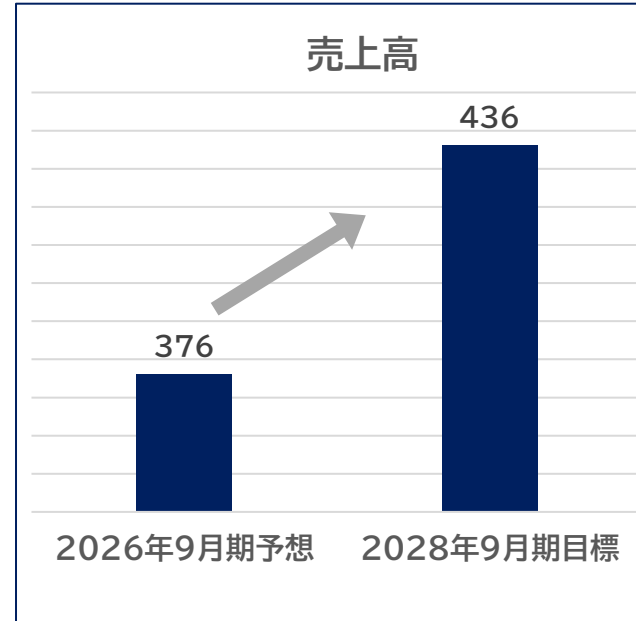
不動産投資家向けの新たな成長分野への展開を目的として、東京都を中心に不動産開発事業等を展開する「つくる地所株式会社」と、不動産開発事業に関する業務提携契約を締結。

目次

- 1 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第2四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年1月～2026年3月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)**
- 6 株主還元

2028年9月期(第60期)を最終年度とする中期業績目標

	2028年9月期目標
売上高(億円)	436
営業利益(億円)	22
経常利益(億円)	14
自己資本比率	20.3%



「既存の事業モデルの見直し」「法人・富裕層向け事業の拡大による事業ポートフォリオの変革」
 「DX推進等による生産性の向上」に取り組み、利益率の向上と安定した財務基盤の構築を図る
 ことで持続的な成長を目指す。

目次

- 1 2026年9月期第2四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第2四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年1月～2026年3月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元**

株式の状況

取 引 所	福岡証券取引所本則(2019年6月4日上場)
証 券 コ ー ド	福証本則:2974
発 行 株 式 数	3,329,400株(3月31日時点)
株 価	926円(4月30日時点)
単 元 株 数	100株
P E R (株 価 収 益 率)	4.80倍 ※(1)
P B R (株 価 純 資 産 倍 率)	0.35倍 ※(2)
1 株 当 た り 配 当 金	24.0円
配 当 利 回 り	2.59% ※(3)

※(1)PERは2025年9月期決算数値における、1株当たり当期純利益192.84円に基づき上記株価で計算
 (2)PBRは2025年9月期決算数値における、1株当たり純資産額2660.18円に基づき上記株価で計算
 (3)配当利回りは、2025年9月期配当予定24円、4月30日の株価にて算出

株主様への利益還元について

配当予想及び株主優待につきましては変更ございません。

■ 配当金

2026年9月期(予想)	1株当たり 24円(予想) 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円(予想)
2025年9月期	1株当たり 24円 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2024年9月期	1株当たり 23円 中間配当(3月末日)11円、期末配当(9月末日)12円

■ 株主優待

2026年9月期(予想)	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2025年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2024年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード	500株～ 2,000円分クオカード

本資料について

本資料は、当社が現在入手している情報等に基づいており、
実現をお約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は経営環境の変化等により異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ先

大英産業株式会社 経営企画室

TEL: 093-613-5659

<https://www.daieisangyo.co.jp/ir/form>

